

あけましておめでとう おめでとうございます

町長 徳 永 哲 雄



新年あけましておめでとうございます。
町民の皆さま方におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。また、旧年中は町政運営全般にわたり、温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
昨年を振り返りますと、銅路管内では初めてとなる高速道路が白糠町で開通となり、今年3月には本町から最も近いインターチェンジ「阿寒IC」も運用開始される予定であります。北海道新幹線の開通とともに、今後ますます道内外の交流人口が増えるものと期待するところでございます。
道内では、春の甲子園で東海大 学付属第四高等学校が52年ぶりの準優勝を果たしたほか、外国人観光客の来道者が過去最高となるなど、明るい話題が多い年でありました。反面、昨年11月、壮瞥町出身で日本相撲協会の北の湖理事長が亡くなられたことは、大嶋幸喜氏に並ぶ昭和の横綱をまた1人失ったとして、相撲ファンならずとも悲しい出来事の一つであります。
国内外では、スポーツ界の話題が多く、特にラグビー日本代表のワールドカップでの大躍進は社会現象ともなりました。4年後の札幌ドームでの開催も注目されます。

町内でも、小・中学生、高校生のスポーツにおける活躍は目覚ましく、水泳やテニスのほか、弟子屈高校の陸上部は全国大会の常連として各方面からも注目されており、こちらも目が離せません。
昨年は、念願であった養護老人ホーム俣和園と特別養護老人ホーム摩周が新築移転いたしました。摩周厚生病院との連携により、これまでにない高齢者福祉と医療の充実が図られるものと期待するものであります。
また、新年度からは、不妊症で悩む夫婦への治療費支援と、これまで中学生までであった医療費助成を高校生まで拡大するなど、子育て世代の負担軽減に努めることとしております。
基幹産業である農業につきましては、バレイシヨの収穫が例年並みだったほかは、軒並み収量が伸びており、特に小麦についてはこれまでない収穫高となっております。生乳につきましても、酪農戸数が減る中、皆さまの努力により前年を上回る生産量となっております。
また、「昨年「摩周和牛」とともに「葡萄色の旦(えび)いろのよあけ」と命名された弟子屈産ワインも、順調にブドウの作付面積を増やしており、今後の大量生産とブランド化に向けた取り組みを進めてまいりたいと考えております。

町議会 議長 八幡 豊 行



年頭にあたって

町民の皆さま、あけましておめでとうございます。
平成28年の新春を迎えるにあたり、町議会を代表し謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。
皆さまにおかれましては、ご家族おそろいで新年をお迎えになられたことを、心よりお喜び申し上げます。また、日頃から町議会に対する格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
昨年を振り返りますと、TPPの大筋合意や安全保障関連法案の可決など大きな政治的な動きがあった年であり、また、鬼怒川の氾濫など全国各地で自然災害が多発した年でもありました。景気も回復基調とはいわれるものの、地方では直接感じられておりません。政府は、平成29年4月からの消費税10%への引き上げに向けて協議を継続しており、今後の生活への不安が払拭(ふっしょく)されないところでもあります。
さて、本町に目を向けますと、昨年は老人ホーム俣和園が新築され、多くの町民の皆さまにも見学をさせていただきました。新たな介護施設の中核が整備され、安心して暮らせるまちへ、さらなる一歩を踏み出せたと感じております。本年は、消防庁舎の移転改築も進められる予定となっており、安全なまちづくりに向けた整備が着実に進められる予定となっております。

本町の基幹産業の一つであります農業では、酪農は乳価上昇があったものの、資材価格および燃料価格の上昇が続いており、経営を圧迫する状況が続いております。そのような中、離農による世帯減少はあるものの生産量としては、ほぼ前年並みの収量が確保されました。畑作においては、バレイシヨの収量が若干減少したものの、でんぶん含有率、テンサイの糖分とも平年以上となる見込みとなりました。ソバも収穫量が前年比3割増とまずまずの結果となりました。また、酪農同様、生産資材などの価格上昇も含め、いかにコストの低減を図っていくかが喫緊の課題となっております。観光では、入り込み客数は増加しているものの、大型ホテルの閉鎖などが影響し、宿泊客総数の減少が続いております。しかしながら、訪日外国人観光客が増加傾向にあるほか、道の駅は入館者数、売り上げともに伸びており、多くの集客があったことが一定の成果となりました。昨年の道東自動車道・白糠インターチェンジの開通に引き続き、今年も阿寒インターチェンジまで延伸される予定となっております。今後、道央圏からはじめ町内経済に良い波及効果もたらされるよう期待するものであります。
今後、わが町の発展のため、議会としても執行機関と連携を密にし、さまざまな課題の解決に努力を重ねてまいりたいと存じますので、町民皆さまの一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さらなる飛躍の年を願って

町教育委員会 教育長 小林 俊 夫



新年あけましておめでとうございます。
平成28年の年頭にあたり、謹んで初春のお喜びを申し上げます。
町民の皆さまにおかれましては、本町の教育に関わる取り組みに対し、深いご理解と多大なるご協力を賜り、心から感謝申し上げます。本年におきましては、これまでと同様、変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます。
さて、昨年を顧みますと、数多くの出来事が私たちの日常生活に彩りを添えてくれました。37年ぶりの体操世界選手権団体金メダル、ラグビーワールドカップの快挙、2年連続の日本人ノーベル賞受賞などは、私たち日本人に大きな感動と希望を与えてくれました。
本町に関わりましては、2月の文部科学省「優良公民館賞受賞をはじめ、5月には絵本の会おはなしはらっぱの皆さんが「子ども読書活動優秀実践文部科学大臣賞」、11月には町内在住の写真家・水越武さんが「地域文化功労者表彰」、聖月流日本吟剣舞道会川湯支部の皆さんが「北海道文化団体協議